

2020年6月30日（火）
裾野高校 絵本読み語り講座

保育士を目指す高校生に対して

- ・マザーボイスとは？
- ・まあい声のボイスレッスン
- ・絵本の読み方
- ・紙芝居との違い

についてお話しさせていただきました。

特に

- ・絵本を読む時の「声」が大切ということ
- ・上手に読むのではなく心を込めて愛情が伝わるまあい声で読むこと

をお伝えしたく

声の出し方、めくり方、読み方を高校生と実践しました。

多くの生徒さんから

- ・読むときは「声」が大事！
- ・こどもに愛情が伝わるまあい声がある
- ・こどもと一緒に楽しんで読む
- ・自分の元々持っている声で読む（作らない）
- ・自分の感じた感情を声で表す
- ・お母さんの声はこどもにとって大切なもの

など、

読む技術について習得できたという感想の他に「声」についての感想をたくさんいただきました。

他にも

- ・絵本を読む時に声を作らないで読むのは意外だったのでびっくりしました！
- ・ただ読むだけではダメなんだと知ることができました。
- ・まあい声で話す、読み聞かせの機会があったら今日教えてもらったことを自分ができるようにしたいです。こどもに本の楽しさや面白さが伝わるように読み聞かせをしたいです。

・保育士になりたいのでとても貴重な体験になりました。絵本を読むとき、自分が理解するための読み聞かせではなく、まるく子どもたちに感情が伝わる声を使って絵本を読みたいです。

・本をしっかりと読むためのレッスンや声出しを練習して、ただ本を読むだけなのにと感じていたけれど、ただ読むだけではなく、感情もしっかり入れないといけないということがわかりました。

子どもたちに見えやすくするために方向があったり、わからなかった部分も教えてもらったので将来にいかして行きたいなと思いました。読む声とめくり方が大事ということを知ったので練習したいと思いました。

・最後に紙芝居を読んでいただいた時に、小さな頃にこの声で読まれていて集中していたなと思いました。少し恥ずかしくて声を出せなかったけど、高校生になった今でも惹きつけられたので今回聴いた声を出せるようになりたいと思いました。口の形を変えるだけで優しくなったり、声を作らないなど小さい工夫で子どもが集中できてすごいと思いました。

・子供にどのような気持ちで伝えながら読みたいかを考えて読むことを知った。松村さんの本や紙芝居の読み方はとても声が通っていてとても聴きやすくてなんか惹きつけられる感じだったから自分もこんな風に読みたいと思った。

・ただ読むだけと思っていた読み聞かせも、読み手のたくさんの工夫のおかげで楽しく読めていたんだなと思いました。声や表情のひとつひとつで子供たちを楽しませることができるようになりたいなと思いました。いざ自分がやってみるとめくり方がとても難しくて苦戦してしまいました。練習をして自分も子供たちも楽しんでくれる読み聞かせができるようになりたいです。

・マザーボイスお母さんのあったかくて優しい声が大事！！
読む時の声が一番大事、こどもに伝わるのがまーるい声

・下読みをし何を伝えたいか気持ちで読む。

など感想がありました。（一部を抜粋しました。）

知っている絵本が出てくると

「小さい頃よく読んでた」など

懐かしく思い出している場面も見られ

とてもあたたかい時間でした。